

はじめに

読書は、親と子どもの絆を深めます。心の土壌を耕します。生きることの意味を深く考える機会をくれます。時間や空間を超えた人との出会いをもたらしてくれます。言葉を通して、子どもの心へ届く愛を享受して育った子ども達は、自分を愛し、他の人を愛し、信頼することができます。

このように、読書は、考える力や豊かなコミュニケーションをもたらす想像力、人への自然へのやさしさなど、生きる力のもとを育みます。

子どもが乳幼児期から本に親しみ、豊かな読書体験を積み重ねていくことのできる環境を作るためには、大人自らが読書の重要性を認識して子どもに働きかけをすることが必要です。

「高知県子ども読書活動推進計画」は、県内すべての子ども達が豊かな心を育み、人生を「より深く、強く生きること」を願って策定しました。

この計画は、幼児教育振興プログラムに位置付けた幼稚園と保育所での読み聞かせ、全校一斉読書の推進や司書教諭資格取得者の複数配置、さらにNPO法人「高知こどもの図書館」と公立図書館、学校図書館との連携の大切さを盛り込んだ高知県らしい内容となっています。

私達は今後、この推進計画の基本理念を尊重し、子ども達がそれぞれの発達段階に応じて、自主的に読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身につけ、本を探す旅、人に出会う旅の楽しさを体験するお手伝いをしていきます。

各市町村におかれましては、それぞれの地域の実態に即した独自の計画を策定され、子どもたちの読書活動を積極的に推進されることを期待します。

この計画の策定にあたり、ご尽力いただきました「高知県子ども読書活動推進計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました県民の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成18年11月

高知県教育長

大崎博澄